

防除情報

長崎県病害虫防除所長

平成22年度病害虫発生予察防除情報第7号

水稲 コブノメイガの発生状況について

コブノメイガの誘殺は、6月中旬から確認されていますが、現在の発生状況は以下のとおりですので、圃場での発生に注意してください。

記

1. 誘殺・発生状況

ア 諫早市では6月19日に初誘殺が認められ、6月4～5半旬にかけて誘殺がみとめられている(表)。

イ 県内各地(長崎市琴海戸根、五島市、壱岐市、対馬市)のフェロモントラップでの誘殺数は少ない状況である。

ウ 6月下旬の巡回調査(早期水稲、35筆)の結果、食害株率は0.5%(平成21年0.4%)、発生圃場率は22.9%(平成21年21.0%)であった。また、10㎡あたりの成虫数は0.9頭(平成21年0.0頭)であった。

表 コブノメイガの誘殺状況(諫早市小船越)

月日	蛍光灯 採集箱 (頭)	追い出し 成虫数 (頭/10㎡)	フェロモン トラップ (頭)	
	H22	H22	H22	H21
6.19	0	0.1	2	0
6.20	1	0.2	2	0
6.21	0	0.7	0	0
6.22	1	1.1	2	22
6.23	0	1.0	5	6
6.24	1	0.7	5	40
6.25	4	1.3	5	33
6.26	0	1.8	0	6
6.27	0	0.3	1	2
6.28	0	0.1	1	0
6.29	1	0	0	0

注) 追い出し成虫数は県予察圃場(早期、無防除、諫早市小船越)の100㎡調査における成虫数を10㎡あたりに換算

2. 防除上注意すべき事項

- ア 地域や圃場によって発生状況が異なるので注意する。
 - イ 今後も飛来する可能性があるので、飛来及び圃場での発生状況に注意する（飛来状況については、防除所のホームページに掲載）。
 - ウ 早期水稲で被害が予想される場合は防除の必要性について検討する。
 - エ 薬剤防除を行う場合は、粉剤・液剤では成虫発生最盛期の7～10日後、粒剤では成虫発生最盛期に散布する。
-

6月15日から8月14日までの2ヶ月間を「農薬危害防止月間」と定め、農薬事故を防止する運動を実施しています。

病虫害防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせは、電話でお願いします。

長崎県病虫害防除所 TEL：0957-26-0027